



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス
 コード番号 4732 URL <https://www.ussnet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 安藤 之弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	42,429	6.6	21,220	3.2	21,586	3.1	14,614	2.7
2022年3月期第2四半期	39,784	16.1	20,570	29.4	20,945	28.4	14,223	30.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 14,712百万円 (△3.1%) 2022年3月期第2四半期 15,187百万円 (36.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	59.74	59.64
2022年3月期第2四半期	57.04	56.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	238,176	186,539	77.2
2022年3月期	229,354	182,473	78.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 183,783百万円 2022年3月期 179,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	29.20	—	37.00	66.20
2023年3月期	—	33.70	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	33.80	67.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,529	5.0	43,460	4.5	44,176	4.3	30,000	0.9	122.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	257,000,000株	2022年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	12,489,986株	2022年3月期	68,051,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	244,606,256株	2022年3月期2Q	249,347,486株

(注) 2023年3月期2Qの期末自己株式数には117,000株、2022年3月期の期末自己株式数には187,200株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2022年11月9日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内自動車流通市場は、依然として半導体などの部品調達不足による生産遅延や納期の長期化が続いており、新車登録台数（軽自動車含む）は1,923千台（前年同期比6.2%減）となりました。

中古車登録台数（軽自動車含む）は、新車の減産による販売台数減の影響で、下取りにより発生する中古車が減少したことなどから、3,032千台（前年同期比5.9%減）となりました。（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

中古車輸出市場は、コンテナ不足や海上輸送費の高騰などにより南米、アフリカ向けの輸出台数が減少したことから輸出台数は616千台（前年同期比5.2%減）となりました。（財務省貿易統計調べ）

オートオークション市場における出品台数は3,345千台（前年同期比3.8%減）、成約台数は2,324千台（前年同期比1.8%減）、成約率は69.5%（前年同期実績68.1%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、USSグループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高42,429百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益21,220百万円（前年同期比3.2%増）、経常利益21,586百万円（前年同期比3.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14,614百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「リサイクル」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載しており、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

オートオークション

オートオークションの出品台数は1,356千台（前年同期比0.4%減）、成約台数は908千台（前年同期比3.7%増）、成約率は67.0%（前年同期実績64.4%）となりました。

オートオークション市場で流通する中古車が減少する中で、出品台数についてはわずかに減少したものの、成約率が上昇したことなどにより増収増益となりました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高33,168百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益20,434百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、オークション相場が高騰したことにより、台当たり粗利益が増加したため増収増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、販売台数が増加したことに加え、利益率の高い高額車両の取扱いが増加したため増収増益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高5,049百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益211百万円（前年同期比147.2%増）となりました。

リサイクル

資源リサイクル事業は、廃自動車の取扱台数が減少したことに加え、高値圏で推移していた金属スクラップ相場が、5月から下落基調に転じたことから利幅が縮小し、減収減益となりました。

プラントリサイクル事業は、大規模な解体工事の受注件数が増加したことから、増収増益となりました。

この結果、リサイクルのセグメントは、外部顧客に対する売上高4,162百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益527百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は238,176百万円となり、前連結会計年度末と比較して8,822百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が9,247百万円増加したことによるものです。

負債合計は51,637百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,757百万円増加しました。これは主に、預り金など流動負債のその他が1,917百万円減少した一方、オークション借勘定が6,893百万円増加したことによるものです。

純資産合計は186,539百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,065百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を14,614百万円計上したこと、剰余金の配当を9,079百万円実施したことに加え、自己株式の取得により1,632百万円減少したことによるものです。

なお、自己株式の消却により、資本剰余金が9,946百万円、利益剰余金が44,391百万円、自己株式が54,337百万円それぞれ減少しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して7,247百万円増加し、82,728百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は20,051百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益21,623百万円（前年同期比3.2%増）、法人税等の支払額7,217百万円（前年同期比0.5%増）、オークション勘定の増減額5,684百万円（前年同期実績△302百万円）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は4,150百万円となりました。これは主に、定期預金の純増加額2,000百万円（前年同期実績－百万円）、投資有価証券の取得による支出1,001百万円（前年同期実績－百万円）、有形固定資産の取得による支出960百万円（前年同期比55.7%増）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は8,653百万円となりました。これは主に、配当金の支払額9,079百万円（前年同期比31.0%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、国内自動車流通市場が半導体などの部品調達不足による生産遅延や納期の長期化により前年割れが続く中、オートオークションの成約率上昇や、プラントリサイクル事業の受注件数増加などにより、売上高、営業利益、経常利益は業績予想を上回る結果となりました。

これにともない通期業績予想は、上期の業績を反映し、売上高、営業利益、経常利益は前回発表の連結業績予想を上回る見込みであり、親会社株主に帰属する当期純利益は据え置いております。

<連結業績予想>

通期（2022年4月1日～2023年3月31日）

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率(%) (B-A)/A	前期実績 (C)
出品台数(台)	2,860,000	2,816,244	△43,756	△1.5	2,731,669
成約台数(台)	1,850,000	1,858,620	8,620	0.5	1,787,302
成約率	64.7%	66.0%	1.3P	—	65.4%
売上高	84,100	85,529	1,429	1.7	81,482
営業利益	43,100	43,460	360	0.8	41,574
経常利益	43,800	44,176	376	0.9	42,374
親会社株主に帰属する 当期純利益	30,000	30,000	—	—	29,745

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,380	88,628
オークション貸勘定	14,572	15,782
受取手形、売掛金及び契約資産	2,425	2,324
有価証券	3,000	3,000
棚卸資産	1,206	1,340
その他	3,305	2,488
貸倒引当金	△18	△20
流動資産合計	103,872	113,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,426	32,465
土地	63,577	63,577
建設仮勘定	245	394
その他（純額）	3,130	2,822
有形固定資産合計	100,379	99,260
無形固定資産		
のれん	8,366	8,096
その他	6,209	5,973
無形固定資産合計	14,575	14,070
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,632	11,403
貸倒引当金	△106	△101
投資その他の資産合計	10,526	11,301
固定資産合計	125,481	124,632
資産合計	229,354	238,176

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	21,213	28,107
支払手形及び買掛金	698	878
短期借入金	186	440
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	7,578	7,107
引当金	782	791
その他	7,203	5,285
流動負債合計	37,884	42,831
固定負債		
長期借入金	2,356	2,072
引当金	—	19
退職給付に係る負債	872	934
資産除去債務	623	628
その他	5,142	5,151
固定負債合計	8,996	8,806
負債合計	46,880	51,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,915	8,992
利益剰余金	211,843	172,986
自己株式	△65,039	△12,181
株主資本合計	184,600	188,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	930	754
土地再評価差額金	△5,636	△5,636
退職給付に係る調整累計額	△14	△13
その他の包括利益累計額合計	△4,719	△4,894
新株予約権	457	457
非支配株主持分	2,136	2,298
純資産合計	182,473	186,539
負債純資産合計	229,354	238,176

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	39,784	42,429
売上原価	14,746	16,467
売上総利益	25,038	25,962
販売費及び一般管理費	4,467	4,741
営業利益	20,570	21,220
営業外収益		
受取利息	2	3
不動産賃貸料	374	360
雑収入	94	98
営業外収益合計	471	463
営業外費用		
支払利息	6	5
不動産賃貸原価	85	85
雑損失	4	6
営業外費用合計	96	97
経常利益	20,945	21,586
特別利益		
固定資産売却益	13	50
その他	—	3
特別利益合計	13	54
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	5
災害による損失	—	11
その他	—	0
特別損失合計	1	17
税金等調整前四半期純利益	20,957	21,623
法人税等	6,479	6,735
四半期純利益	14,478	14,887
非支配株主に帰属する四半期純利益	255	273
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,223	14,614

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	14,478	14,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	707	△176
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	709	△175
四半期包括利益	15,187	14,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,932	14,438
非支配株主に係る四半期包括利益	255	273

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,957	21,623
減価償却費及びその他の償却費	2,509	2,318
のれん償却額	269	269
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30	△11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	56	63
受取利息及び受取配当金	△16	△32
支払利息	6	5
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△12	△45
オークション勘定の増減額	△302	5,684
売上債権の増減額 (△は増加)	90	100
仕入債務の増減額 (△は減少)	△247	179
未払金の増減額 (△は減少)	△149	△532
預り金の増減額 (△は減少)	△710	△757
その他	△329	△1,627
小計	22,140	27,233
利息及び配当金の受取額	28	40
利息の支払額	△7	△5
法人税等の支払額	△7,179	△7,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,982	20,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	△2,000
有形固定資産の取得による支出	△616	△960
有形固定資産の売却による収入	13	52
無形固定資産の取得による支出	△310	△241
投資有価証券の取得による支出	—	△1,001
その他	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△914	△4,150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	630	253
長期借入金の返済による支出	△277	△283
預り保証金の預りによる収入	90	119
預り保証金の返還による支出	△61	△87
自己株式の取得による支出	△0	△1,632
自己株式の売却による収入	158	167
自己株式取得のための金銭の信託の増減額 (△は増加)	—	2,026
配当金の支払額	△6,928	△9,079
非支配株主への配当金の支払額	△60	△111
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,453	△8,653
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,613	7,247
現金及び現金同等物の期首残高	64,870	75,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,484	82,728

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月8日開催の取締役会決議に基づき、2022年4月1日から2022年5月31日までに、自己株式775,700株を取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,632百万円増加しております。

また、2022年5月31日開催の取締役会決議に基づき、2022年6月30日付けで、自己株式56,250,000株を消却いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が9,946百万円、利益剰余金が44,391百万円、自己株式が54,337百万円それぞれ減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が8,992百万円、利益剰余金が172,986百万円、自己株式が12,181百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クション	中古自動車 等買取販売	リサイクル	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	31,929	4,229	3,579	39,738	46	39,784	—	39,784
セグメント間 の内部売上高 または振替高	146	0	1	147	—	147	△147	—
計	32,075	4,229	3,580	39,886	46	39,932	△147	39,784
セグメント利益	19,852	85	589	20,528	32	20,561	9	20,570

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システムによる売電事業等であります。

2. セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クション	中古自動車 等買取販売	リサイクル	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	33,168	5,049	4,162	42,381	48	42,429	—	42,429
セグメント間 の内部売上高 または振替高	131	—	1	133	—	133	△133	—
計	33,300	5,049	4,164	42,514	48	42,562	△133	42,429
セグメント利益	20,434	211	527	21,174	36	21,210	9	21,220

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システムによる売電事業であります。

2. セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「リサイクル」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	397	424	6.6	855
営業利益	205	212	3.2	434
経常利益	209	215	3.1	441
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	142	146	2.7	300

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	75	75	0.8	157
成約手数料	73	76	3.0	156
落札手数料	113	116	2.5	238
バイクオークション手数料	4	4	12.5	9
商品売上高	6	11	78.1	19
その他の営業収入	45	46	2.1	93
オートオークション計	319	331	3.9	675
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	23	28	20.9	55
事故現状車買取販売	18	21	17.5	45
中古自動車等買取販売計	42	50	19.4	100
《リサイクル》				
資源リサイクル	26	26	△2.9	50
プラントリサイクル	8	15	74.4	27
リサイクル計	35	41	16.3	78
《その他》				
その他	0	0	3.8	0
その他計	0	0	3.8	0
合計	397	424	6.6	855

- (注) 1. 顧客との契約から生じる収益およびそれ以外の収益を区分して記載しておりません。
2. バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。
3. 当第2四半期連結会計期間から報告セグメントの区分を変更しており、前第2四半期連結累計期間は変更後の区分で記載しております。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	9	12	29.6	60
完工ベース	5	6	12.7	61
減価償却費	24	22	△8.0	47